

学校だより No.1

平成22年4月28日
旭川市立明星中学校

知と和と粘り



〒070-0025 旭川市東5条1丁目 Tel 0166-26-0468 E-mail: myojyo@myojyo.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp



新年度のスタートに当たり

校長 高柳 知己

本校は、「明るい挨拶と表情、温かなことば遣い」を基盤に、「健やかな生活と確かな学びづくり」を重点目標として、今年度も安定した教育活動を推進していきたいと考えております。

4月7日の始業式では、進級した2・3年生が順調に新年度のスタートを切りました。また、午後には入学式を行い、136名の新入生を迎えました。式辞の中で、校訓「知と和と粘り」にかかわって次のような期待を述べました。

「知」については、勉強の仕方が小学校時代と大きく変わるが、日々の授業を大切にするとともに、毎日家庭においても予習や復習をするなど、望ましい学習習慣を身につけてほしい。また、中学生としてふさわしいものの考え方や判断力など知性も身につけてほしい。

「和」に関しては、9つの学校から入学してきたが一日も早く出身小学校の垣根を取り払い、新たに出会った友だちのよさや持ち味に気づき、楽しく生活できる学級をつくってほしい。さらに、自分の役割や責任を果たすなど、豊かな社会性や人としてのマナーを身につけてほしい。

「粘り」については、夢や目標に向かって、努力を惜しまない中学生になってほしい。とりわけ、部活動では、毎日の厳しく辛い練習を通して心身を鍛え上げてほしい。

今年度、新たに10名の教職員が着任しております。職員一丸となって保護者の期待に添うよう努力してまいりたいと考えております。しかし、家庭や地域との連携なしでは、その成果を期待できるものではありません。家庭・地域・学校が手を携えることによって、子どもたちに確かな学力や豊かな心を根付かせることができるものと考えます。どうぞ、本校の教育に対しまして温かいご理解、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。新年度のご挨拶いたします。

入学おめでとうございませす 4月7日 平成22年度入学式



今日から私たち、136名は6年間通い慣れた母校に別れを告げ、伝統に輝く明星中学校の生徒として新しい一歩を踏み出すことになりました。

今は喜びと期待と不安の気持ちでいっぱいですが、2月の入学説明会での体験授業がとても楽しく、早くこの中学校に入学したいと心待ちにしておりました。明日から中学校での生活が始まりますが、私は多くの人と関わって友達をつくっていけたらなあと思います。

不安に思っていることは、定期テストや学力テストのことです。また、授業の内容をしっかりと理解できるのか、授業のスピードについていけるのが心配です。また、挨拶や言葉遣いにも気をつけ、思いやりの心を忘れずに中学校生活を充実したものにしていきたいです。

そして、明星中学校の校訓である「知と和と粘り」を合い言葉に、今まで先輩たちが築いてくださった、「文化明星」、「体育明星」の伝統を受け継いでいくために精一杯努力していこうと思います。

校長先生をはじめ、先生方や先輩のみなさん、よろしくご指導くださいますようお願いいたします。

平成22年度 教職員・PTA四役紹介

校
教
教

長
頭
諭

高柳 知己 1年1組担任, 理科
金子 圭一 1年2組担任, 英語
○越湖 憲治 1年3組担任, 社会
竹原 陽平 1年4組担任, 保体
小野 直久 1年1組副担, 数学
◎大熊 修一 1年2・3組副担, 国語
氏家 彰太 1年4組副担, 音楽
渡邊 孝人 2年1組担任, 英語
西 加奈子 2年2組担任, 保体・技術
◎鎌田 昌記 2年3組担任, 理科
石津 基博 2年1組副担, 国語
○中西 秀幸 2年2組副担, 社会
平間 拓 2年3組副担, 数学
佐藤 俊博 3年1組担任, 理科
高綱 智美 3年2組担任, 国語
上原 文典 3年3組担任, 保体
○松本 敏朗
藤原 克宗

教
諭

◎斉藤 孝弘 3年1組副担, 数学
岡崎 良昭 3年2組副担, 英語
加藤あかね 3年3組副担, 美術
室谷 和恵 3学年所属
○横田 明晴 明星学級担任
◎井上 重美 明星学級担任
白石 真 ヴィーナス学級担任, 技術
(特別支援教育コーディネーター)
山田美恵子 明星学級担任, 家庭科
高橋 剛司 特別支援学級副担
早川 敏彦 初任者研修担当
三吉 正子
長田 伸司
寺田 均 篠田 綾子
大橋 勝司 中島 婦士子
若井由美子
高橋信一郎
◎～学年主任 ○～学年副主任

養護教諭
教諭

指導教員
補助指導員
事務職員
業務吏員

給食配膳員
スクールカウンセラー

～PTA四役～

※ () 内は子どもの学年・学級

会 長 戸野塚啓一 (3年3組)
副 会 長 野々村憲之 (3年2組) 内藤 勉 (2年1組) 水野 明 (2年1組)
齋藤 仁史 (2年3組) 小山 英明 (1年4組)
会 計 高橋 弘子 (3年1組) 樋口さゆり (2年2組)
監 査 古川 勝利 (3年2組) 小倉美枝子 (1年1組) 伊澤 知己 (1年4組)



4月9日 生徒会対面式

4月19日 いじめ撲滅集会

A : 「ってかBちゃん話変わるけどさ、前に遊んだときに撮ったプリクラ、なんかCちゃんだけぶりっ子しててキモくなかった？」
B : 「あー！うんうん。Aちゃんの言うとおりの。一人だけ超浮いてたよね」
A : (笑って) 「言えてる～。てかマジキモいよね」
(そままでぶりっ子してないのにキモいって言っちゃった…)

A : 「ってかBちゃん話変わるけどさ、前に遊んだときに撮ったプリクラ、なんかCちゃんだけぶりっ子しててキモくなかった？」
B : 「そうかな？プリクラ撮るときって皆ポーズとったり、変顔しない？それにCちゃん友達だし、そういうこと言ってほしくないな」
A : (反省の意で) 「あ、そっか…。また皆でプリクラ撮りにいこうね！」

ほんの少し言葉を変えてみることでちょっと嬉しい気持ちになる…楽しい気持ちになる…言葉とはそのようなものではないでしょうか。(中略) 言葉は人の心を切り裂く武器にも暴力にもなれば、人を喜ばせ幸せを導く贈り物にもなります。明星中学校に通う私たちはいつも、どんなときも、相手の気持ちを考えた言葉を使いましょう。(生徒会長)